



洗心

村山市立袖崎小学校
学校だより
No.3

令和7年5月7日発行

子どもたちの成長エネルギーを感じた4月



4月18日(金)の授業参観には、たくさんの方においでいただき、ありがとうございました。写真で子どもたちの授業の様子をご覧ください。

この日だけでなく、1学年上がったことで、子どもたちは3月とは違う表情や姿を見せています。まず、登校では、相手の目を見て、聞こえるように挨拶ができる人が増えました。心なしか姿勢もしゃっきりしています。そして毎日の授業では、「がんばるぞ。」という意気込みが感じられます。教室に、課題を意識した、前向きな空気が流れています。これは、R7テーマ「挑戦し、やり抜く」を見童会スローガンに落とし込んで、40人一人一人が実現のために力を出す、と話し合ったことと無関係ではないと思います。



4月30日(水)には、1年生を迎える会が行われました。今回5、6年生は、「これは会の目的に合っているかな。」と一つ一つの活動の意味を考えるとところから計画を立て、心を込めて準備しました。そして一人何役も担い、周囲に目を配り、助け合って会をつくり上げました。

久しぶりに児童会の歌「ユリノキの歌」を全校で歌い、1年生と仲良くなるためのゲームやクイズもたくさんできました。2、3、4年生は、会を盛り上げ、一緒に楽しみました。そして、インタビューや1年生の「よろしく宣言」で、1年生のことをよく知ることができました。1年生は、みんなの優しさに包まれ、にこにこ笑顔でした。



驚いたのは児童の感想発表です。ほぼ全員が手を挙げ、「1年生が楽しそうだったので良かったです。」「1年生はまだ慣れないと思うので、これから一緒にいろんなことを体験したいです。」など、自分以外の人のことを考えた感想が、2、3、4年生からも聞かれました。この会を通して、子どもたちのエネルギーと成長を改めて感じることができました。

洗心わくわくプロジェクト 満開の桜の下でお花見



学校におもしろいを創る「洗心わくわくプロジェクト」第1弾として、数年ぶりに桜の下で全校お花見を行いました。ユリノキ班ごとに分かれて、みたらし団子をほおぼりながら、満開の桜の花を見上げました。



青空に薄桃色の花びらが映え、子どもたちは「きれい…」とうっとり。その後は、思い思いにグラウンドで遊び、春の日を満喫しました。

